

とうふまつり&モンベルレポート

大山とうふまつり&モンベル包括協定調印式

いよいよ春本番を迎え、杉花粉飛散のピークに見舞われている今日この頃ですが、皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか？

さて、私はこの週末も伊勢原の観光行事に参加してまいりました。

先ずは土曜日に、今年で28回を数え、すっかり春を大山に告げる風物詩として定着した「大山とうふまつり」。直径4mの仙人鍋で振る舞われた大山菜入りの湯豆腐を求めて、多くの皆様が列を作りました。

続いて日曜日には、日本のアウトドア用品のトップメーカーである「モンベル」と伊勢原市・厚木市・愛川町・清川村の各市町村と、観光分野を中心とした包括協定の調印式が行われ出席しました。今後はモンベルのブランド力を活かした各種事業を協同して展開して行きます。



大山とうふまつりの幕開けは、厳かにとうふ感謝祭の神事が執り行われました。



鍋奉行により、仙人鍋から熱々の湯豆腐が汲み上げられます。



お椀に分けられ、皆様に振る舞われ、美味しくいただきました。

